



平成 29 年 12 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社キムラタン
代表者名 代表取締役 浅川 岳彦
(コード番号 8107 東証第 1 部)
問合せ先 常務取締役 木村 裕輔
(電話 078-332-8288)

平成 30 年 3 月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 11 月 10 日に公表いたしました「平成 30 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」において未定としておりました、平成 30 年 3 月期通期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の業績予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想（B）	4,420	△320	△360	△370	△4.16
増減額（B－A）	—	—	—	—	—
増減率（％）	—	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （平成 29 年 3 月期）	4,199	△293	△320	△327	△3.68

2. 修正の理由

売上高は前年同期比 5.3%増の 44 億 20 百万円となる見通しです。

主力業態である Baby Plaza、BOBSON 及びネット通販において、アイテム拡充による増収効果、在庫販売強化による底上げ等により、売上高は各々前期実績を上回る見通しです。

損益面では、在庫販売強化による粗利益率の低下と店舗・本社人件費増等による販売費及び一般管理費の増加により、営業損失は前年同期より若干膨らむ見通しです。

加えて、本日公表いたしました「「黒字化計画 2018-2019」策定のお知らせ」において掲げる主要施策のひとつである本社移転による賃料の削減に向けて、移転に伴い見込まれる費用のうち当期に帰属する約 20 百万円を織り込んだことから、通期の営業損失は 3 億 20 百万円となる見通しです。

経常損失につきましては、新株式発行に伴う費用計上により 3 億 60 百万円となり、親会社株主に帰属する当期純損失は 3 億 70 百万円となる見通しです。

なお、上記「黒字化計画 2018-2019」の詳細につきましては、本日公表の「「黒字化計画 2018-2019」策定のお知らせ」をご覧ください。

以上